

少し残暑が和らいだように感じられます。台風が過ぎ去り、ほっとする地域もありましたが、地域によっては被害があったようで、お見舞い申し上げます。

先の 2023.8.28 付け添付資料に不足内容がありまして、本日追加添付送信いたします。化学物質内容、よくわかっていないことで、ご迷惑かけました。大変申し訳ありません。

さて、今日は 9.11、この数字はやはり思い出します。2001.9.11、「アメリカ同時多発テロ事件」。日本では「ニューヨークの世界貿易センタービルに航空機が激突」の情報、今でもテレビの映像が鮮明に浮かんできます。歴史が大きく変わる時でした。(菅野)

目次

- 1 「令和 4 年度使用者による障害者虐待の状況等」の結果を公表します
- 2 「企業向け障害者テレワーク導入ガイダンス」を開催します
- 3 追加・令和 4 年「労働安全衛生調査（実態調査）」の概況 事業所調査を再送信します
- 4 関連情報

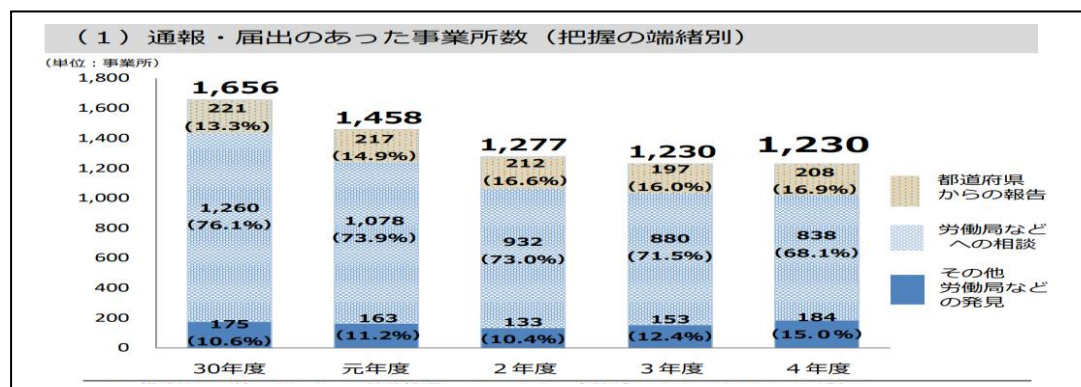
1 「令和 4 年度使用者による障害者虐待の状況等」の結果を公表します

通報・届出件数は横ばい、虐待が認められた事業所数・障害者数は増加、認められた虐待 種別では「経済的虐待」が引き続き最多

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=RaKjsEkVpHl4_mzXY

詳細はこちらをご覧ください。↓↓

○ [「令和 4 年度使用者による障害者虐待の状況等」の取りまとめ結果 \[PDF 形式：6.4MB\]](#)



2 「企業向け障害者テレワーク導入ガイダンス」を開催します

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=U7Sxh7i0yvF-G9bBY>

- ・開催日時 令和 5 年 10 月 25 日（水）13:00-15:30
- ・開催場所 東京都千代田区丸の内 1 丁目 8 - 1 丸の内トラストタワーN館 11 階
※会場参加またはオンライン参加から選択可能です。
- ・対象 全国の企業 ・参加費 無料

参加申込 ホームページ上で事前申込が必要です。(会場定員は 100 名(先着順))

- ・申込期限 会場参加：10 月 18 日（水）17:00、オンライン参加：10 月 24 日（火）17:00
- ・ガイダンスホームページ <https://www.mhlw-telework.com/guidance/>

○別添 [ガイダンスリーフレット \[PDF 形式：999KB\]](#)

3 追加・令和4年「労働安全衛生調査（実態調査）」の概況 事業所調査を再送信します

促進員情報 10-29 8.28 に送信した「事業所調査」の内容に不足がありました。下記を追加し pdf ファイルで再送信します。全体の方も pdf ファイルで再送信します。ご査収ください。なお、ppt が必要な場合は、ご連絡いただければ対応いたします。宜しく！

- ・(3)化学物質を製造又は譲渡・提供する際の安全データシート（SDS）交付状況 - p 24-
- ・第7表化学物質を製造又は譲渡・提供する際の安全データシート（SDS）を交付状況 事業所割合 - p 25-

4 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

- (1) こどもの自殺対策の推進のために

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=qU5PXKX5SJWUEoE7Y>

- (2) 第75回「保健文化賞」受賞者が決まりました

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3R_LQVHWoaOEIcBY

- (3) 令和6年「はたちの献血」キャンペーンのキャッチフレーズを募集します！

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0zQxBzg0SnH-m0xBY>

- (4) 令和5年度中学生を対象とした献血への理解を促すポスターのキャッチフレーズを募集します！

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=r0hNe0RINg2C5zM9Y>

◇ 産業医学振興財団メールマガジン から

■■ <https://www.zsisz.or.jp/> 令和5年9月1日配信

■ 『産業医学レビュー』最新号がJ-STAGEで公開されました！！

『産業医学レビュー』最新号：36巻2号の公開を開始しました。

<産業医学レビュー36巻2号>

- (1) 「呼吸器疾患事例から考える合成高分子有機粉じんによる肺毒性電離放射線の歴史から学ぶ放射線防護」 山野 荘太郎、梅田 ゆみ
(独立行政法人労働者健康安全機構日本バイオアッセイ研究センター)
- (2) 「データヘルス、コラボヘルスの現状と今後の方向性」
中尾 杏子、井出 博生、古井 祐司
(東京大学未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット)
- (3) 「産業衛生学分野への応用が期待されるバイオマーカー： γ -H2AX の有用性」
豊岡 達士 (独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所)

ぜひ、下記 URL よりご覧ください！

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ohpfrev/-char/ja>

(無償公開／オープンアクセス)

○【新刊案内】

・『職場における新たな腰痛対策 Q&A50 既存の腰痛概念の変革と実践』

松平 浩 著／定価 2,750 円 (消費税込)

○最新図書情報は、下記 URL よりご覧いただけます。

<https://www.zsisz.or.jp/shop/book/>

◇ J I L P T から

(1) 正社員のテレワーク実施率 22%、マスク着用率は 80% / 民間調査

パーソル総合研究所は 4 日、「第 8 回・テレワークに関する調査／就業時マスク調査」結果を発表した。正社員のテレワーク実施率は 22.2% で、22 年同期 (25.6%) から微減、2020 年 4 月以降で最も低くなった。テレワークに関する企業方針は、「特に会社からの指示無し」63.1%、「原則出社の指示」21.5% など。就業時のマスク着用率 (着用+たまに着用の計) は 79.8% で、プライベートの着用率よりも 6.1 ポイント多い。マスクの着用理由は、「自己判断」55.7%、「会社からの指示」31.2%、「職場の雰囲気」29.5%。

<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/data/telework-survey8.html>

(詳細)

<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/assets/telework-survey8.pdf>

(2) 働きながらも学びやすい職業訓練のあり方、報告書とりまとめ / 厚生労働省

厚生労働省は 5 日、「公的職業訓練の在り方に関する研究会」報告書を公表した。研究会では、企業内でも訓練機会が乏しいと考えられる非正規雇用労働者等を中心に、具体的な支援の方策を検討、議論。報告書は、働きながらも学びやすい職業訓練の制度設計について、内容 (水準・実施方法・受講日程・分野・受講費用等)、対象者への周知方法、職業訓練実施機関 (訓練コース) の選定方法、成果指標の 4 つの視点から検討した結果をまとめたもの。兵庫県豊岡市や佐賀県等の先行事例も掲載している。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_35012.html

[報道発表資料 \[164KB\]](#)

[別添 1 公的職業訓練の在り方に関する研究会 報告書 \[649KB\]](#)

[別添 2 公的職業訓練の在り方に関する研究会 報告書 \(概要\) \[426KB\]](#)

(3) シンポジウム「中小企業におけるメンタルヘルス対策」 / 厚生労働省 <再掲>

厚生労働省は、職場のメンタルヘルスシンポジウム「中小企業におけるメンタルヘルス対策—労働者への支援が企業価値につながる—」をオンライン (Zoom 及び YouTube) で開催する。中小企業がメンタルヘルス対策に取り組む意義や具体的な取組みをテーマに、基調講演、企業での取組事例、パネルディスカッションを予定。10 月 10 日 (火) (13:30~16:30)

参加無料。Zoom 参加の場合は 9 月 26 日 (火) までに要事前予約 (先着 500 名)。

http://kokoro.mhlw.go.jp/mental_symposium/2023

(4) 「母性健康管理研修会」／厚生労働省・女性労働協会

厚生労働省は女性労働協会に委託して、令和5年10月から12月まで毎月1回「母性健康管理研修会」をオンラインで開催する。対象は、事業主、人事労務担当者、産業保健スタッフのほか、女性労働者を部下に持つ管理職。母性健康管理に関する法律、制度や具体的事例を元に専門家が解説する。参加無料。研修会 HP より申し込む。

https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/kenshu/pdf/kenshu_2023.pdf

(5) イクメン・イクボスセミナー／厚生労働省イクメンプロジェクト

厚生労働省イクメンプロジェクトは、男性の育児休業や育児目的休暇の取得を進めるため、育休取得のメリットや先進企業の取組事例、育休取得経験者の体験談などを紹介する4種類のセミナーを主にZoomによるライブ配信、一部は会場で、2023年8月～24年2月（予定）に開催する（厚生労働省委託事業、事務局：東京海上ディーアール（株））。参加無料、要事前申込み。各セミナーの詳細や申込みは、同プロジェクト HP を参照。

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/seminar/>

◇ 労働安全衛生総合研究所 メルマガ から

【176-1】 お知らせ -----

「過労死等の実態解明と防止対策に関する総合的な労働安全衛生研究」

令和4年度 総括・分担研究報告書の公開

過労死等の実態解明と防止対策に関する総合的な労働安全衛生研究令和4年度
総括・分担研究報告書を発行・公開しました。

↓↓↓ 以下のリンク先で内容をご覧ください。 ↓↓↓

https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/houkoku/houkoku_overwork_2023.pdf#zoom=100

【176-2】 コラム -----

「ドローンの接触による労働災害の防止に関する研究」

（建設安全研究グループ 上席研究員 堀 智仁）

小型の無人航空機（UAV：Unmanned Aerial Vehicle、以下、ドローンという）は、空中からの動画・写真撮影に利用されるだけでなく、作業者の立ち入りが困難な場所でも活用できるため、様々な構造物の点検に活躍の場を広げています。さらに、近年ではドローンの性能が向上し、重量物を運搬することができるモデルも開発されています。そのため、施工管理や橋梁等の点検、測量、資機材の運搬等、建設業においてドローンは必要不可欠なものとなっています。一方で、ドローンが作業者に接触し回転翼で顔や指等を切創する災害が発生しています。本コラムでは、ドローンの事件事例を紹介するとともに、ドローンの回転翼の接触から労働者を保護するための研究についてご紹介させていただきます。

↓↓↓ 以下のリンク先で内容をご覧ください。 ↓↓↓

https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/mail_mag/2023/176-column-1.html

◇ ◆ 【From_M】 から

◆人事労務マガジン/定例第 156 号

<https://www.mhlw.go.jp/content/12600000/001142125.pdf>

◆職場で休職者の復帰を支える皆さまへ

[10月25日] 第16回 うつ病休職者の職場復帰支援を考えるフォーラム

職場のメンタルヘルス再考

～働き方改革の導入、ポストコロナに向けてどう変わってゆくのか～

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/09/07/03.html>

https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/09/07/documents/03_01.pdf

- 1 開催日時 令和5年10月25日（水曜日）午後1時00分から午後4時00分まで
- 2 対象 職場のメンタルヘルス部門（健康・人事・総務）担当の方
産業医の方・産業保健師・心理職等の専門職の方
- 3 定員 380名（会場180名、オンライン（Zoom）200名）
- 4 会場 座・高円寺2（東京都杉並区高円寺北二丁目1番2号）
- 5 申込方法 令和5年10月17日（火曜日）17時00分までに、
ホームページ（外部サイトへリンク）からお申し込みください

◆働く人の満足度につながるのは「働きやすさ」よりも「働きがい」～

アンケート調査結果からみる仕事の満足度と幸福度の関係...：野村総合研究所

https://www.nri.com/jp/knowledge/report/1st/2023/cc/0907_1

【要約】

働く人において、今の仕事の満足度が高いほど、ふだんの生活の幸福度が高い傾向がみられる。仕事で「働きがい」を重視する人において、今の仕事の満足度が高い人が多い。一方、逆に「働きやすさ」を重視する人において、今の仕事の満足度が高い人が少ない。「ウェルビーイング経営」を進める上では、そこで働く人の仕事の満足度を高めることが重要であり、そのためには、「働きやすさ」の追求だけではなく、「働きがい」を意識したり、実感できる取り組みや環境づくりの推進が有効である。

- ¹ 「幸福度」に関する調査結果の詳細は、未来創発センター研究レポート Vol.4
「データでみる日本人の幸福なライフスタイル」を参照ください。

<https://www.nri.com/jp/knowledge/report/1st/2023/souhatsu/0509>

◆新人社員との1on1でやってはいけないこと。

「厳しい指導が嫌な世代」から本音を引き出す方法

<https://news.yahoo.co.jp/articles/af2b0f51247234e36334db510d9455489a2901b2>

◆「職場における学び・学び直しガイドライン」特設サイトの開設について
（厚生労働省）

<https://manabi-naoshi.mhlw.go.jp/>

◆上司も部下も劇的にストレスが減る…

ブッダが2600年前に説いた「慕われる上司の5つの共通点」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/878a193d101bbf85039a23b5d8bfcf9eb7d87c4a?page=1>

慕われる師匠(上司)に共通する5つの特徴

- ①善く訓練し指導する
- ②善く習得したことを覚えさせる
- ③すべての学芸の知識を説明する
- ④友人、同輩に弟子の善きところを吹聴する
- ⑤諸方において、庇護(守って)してやる。

好かれる雇い主(上司)に共通する5つの特徴

- ①その能力に応じて仕事をあてがう
- ②食物と給料を給与する
- ③病気の時に看病する
- ④素晴らしい珍味の食物などを分け与える
- ⑤適当なときに休息させる

■下手な指導者と巧みな指導者の違いは「話し方」

◆感染症対応を踏まえた都保健所のあり方検討会報告書：東京都

https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/08/31/documents/11_01.pdf
https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kenkou/kenkou/hc_review/hc_review_report.files/report.pdf

◆8つの健康的な生活スタイルで糖尿病リスクを最小に

生活改善は薬よりも効果が高い 人生をより充実させるために

<https://dm-net.co.jp/calendar/2023/037809.php>

◆e-健康づくりネット 健康づくり支援担当者のための総合情報サイト

<https://e-kennet.mhlw.go.jp/>
<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/reference/2023/09/e-.php>

掲載中の「健康課題別ツール」

-
- ・身体活動の促進
 - ・肥満予防（男性編）
 - ・アルコール（女性編）
 - ・アルコール（男性編）
 - ・睡眠
 - ・女性の健診・検診

◆メンタルヘルスと「やりたいこと」からより良いマッチングを考える

<https://www.works-i.com/project/mentalhealth/matching/detail003.html>

○選びあう学生と企業。「公正性」がより良いマッチングの鍵になる

<https://www.works-i.com/project/mentalhealth/matching/detail002.html>

○就活生のメンタルヘルス。「やりたいこと探し」とその不安

<https://www.works-i.com/project/mentalhealth/matching/detail001.html>

◆職場にいる「仕事ができる人」が持っているたった1つの特徴とは

<https://finance.yahoo.co.jp/news/detail/3a48150bfba0852422cb7258dcc4df1c3e18d96d>

仕事ができる人が自然とやっている習慣がひとつだけあります。

それは「返信のスピードを遅くしないこと」です。少し見ていきましょう。

返信が早いことのメリットは2つあります。

1つは相手を待たせないことです。

2つ目は自分の負担を軽減するためです。

◆年収の壁、非正規雇用、昇進拒否……“女性活躍推進”を阻む壁は何か？

ダイバーシティ&インクルージョンの礎である「女性活躍推進」――

<https://diamond.jp/articles/-/328407>

2016年4月に施行された「女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）」は、「働きたい女性が活躍できる労働環境の整備を企業に義務付けることで、女性が働きやすい社会を実現すること」を目的として、10年間の時限立法として施行されたものだ。しかし、年収の壁、マミートラック、アンコンシャスバイアスといった問題もあり、企業における女性の働き方は順風満帆とは言い難い。

◆令和5年度障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 資料・動画

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/chiikikyos/ei/03kenshyu_00017.html

○研修の全体像

令和5年度障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 全体像 [117KB] (PDF)

<https://www.mhlw.go.jp/content/001141036.pdf>

○講義資料・動画

・共通講義 **動画はこちら** (厚生労働省 YouTube)

https://www.youtube.com/watch?v=3i2FJZkBk-U&list=PLMG33RKISnWg3_rTvsPUI9jKrBaAJPyek

https://www.youtube.com/watch?v=3i2FJZkBk-U&list=PLMG33RKISnWg3_rTvsPUI9jKrBaAJPyek

・自治体コース講義 **動画はこちら** (厚生労働省 YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=FpaW3aHPB7g&list=PLMG33RKISnWjiwn4eIjhrSDo7x7VWdkU3>

・管理者・虐待防止責任者コース講義 **動画はこちら** (厚生労働省 YouTube)

https://www.youtube.com/watch?v=7E2GUI07wVo&list=PLMG33RKISnWhNULWTSxye_rwyKnnio7Hq

◆エルダー 2023年9月号 特集：高齢者雇用と就業規則入門

<https://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/rib4fd0000004jgi-att/rib4fd0000004jiw.pdf>

https://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/book/elder_202309/index.html

- ◆働く広場 2023年9月号～福祉事業所の自主商品開発支援のあり方 /必要とされている仕事でより多くの障害者の就業機会を創る...：高齢・障害・求職者雇用支援機構

<https://www.jeed.go.jp/disability/data/works/rib4fd0000004al4-att/rib4fd0000004ani.pdf>

https://www.jeed.go.jp/disability/data/works/book/hiroba_202309/index.html

- ◆自殺の原因 小中学生と男子高校生では「学校問題」が最多に

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230908/k10014187151000.html>

ことしの自殺対策白書の案がまとまりました。去年の児童・生徒の自殺について原因を分析したところ、小中学生と男子高校生では「学校問題」が最も多くなりました。白書の案によりますと、去年1年間にみずから命を絶った人は2万1881人で、前の年より874人増加しました。男女別では男性が1万4746人と平成21年以来の増加、女性が7135人と3年連続の増加となりました。このうち、児童・生徒は514人と過去最多となり、原因を分析したところ、小中学生と男子高校生では「学校問題」、女子高校生では「健康問題」が最も多くなりました。

- ◆<独自>政府の自殺対策白書、概要判明 著名タレント自殺追隨に危機感

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f308f70eade89379b78547e13595b85b8d22b064>

政府の令和5年版「自殺対策白書」の概要が6日、判明した。昨年1年間の自殺者の動向を検証した結果、5月に男性タレントの自殺報道に触発され、自殺者が増える「ウェルテル効果」と呼ばれる現象が起きたとし、対策の必要性を強調した。

小野田 富貴子（両立支援担当）

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 （メンタルヘルス担当）

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

yukikan28@gmail.com

...